

会員リレーエッセー ◆◆158◆◆

白山診療班

帯刀 裕之 (小松市・内科)

十月二十二日、今日は秋晴れです。空気は澄んで、白山、大日山、鞍掛山、富士写ヶ岳が眺められます。暖かい日で、白山山頂にも雪はありません。白山の女神、くくり姫様、ありがとうございます。昨夜は、白山診療班の夏山診療慰労会があり参加しました。医師、医学生、白山観光協会の方、約四十人の参加で楽しく夏山診療を振り返りました。その一部を紹介します。医師、医学生、関係者、皆無事に活動を終えることができて良かったです。昨年よりも多くの医学生が白山に登ってくれて、室堂の診療所がにぎわいました。医学生たちは、先輩医師の診療活動を見て勉強意欲が増した、白山の大自然の素晴らしさに感動した、など良い感想を述べていました。



白山診療班の夏山診療慰労会に参加 (前列右から4番目が筆者)

大先輩の山口先生は、「私でも登っているのだから、若い医師はもっと登って欲しい」と話されました。その通りです。僕も来年は一泊二日でなく、二泊三日で登りたいと発言しました。来年度も、関係者の団結と協力で、白山登山者の命、健康を守りたいものです。

改善するべき点としては、登山する医師数が少なく、医師不在の日があることです。学生だけでは診療できず、患者さんを前にして戸惑うことがあります。

この文を読んでもられる先生方にお願ひがあります。室堂にいられたらぜひ、診療所に顔を出して下さるようお願いいたします。学生の相談相手になっていただければ幸いです。

原稿募集中 趣味や旅行記、医療・福祉に関してや平和、環境問題についてなど、会員寄稿をお待ちしています。事務局の杉野までご連絡ください。076(222)5373

聞き書き 近江町市場・今昔 その7

江戸時代からのお店

井沢 宏夫 (金沢市・内科)

「近江町市場」に新しくできた「近江町いちば館広場」に、「無添加」を旗印にした「まつや」と言うパン屋がある。開業四年目とまだ間がないが、そのルーツを辿ると「近江町市場」の誕生に尽くした加賀藩の御用商人・越前屋孫兵衛一族につながっている。



近江町いちば館広場そばの「無添加パンまつや」店主・平松隆さん

十六世紀の昔、前田利家は信長の武将の一人で、各地を転戦し府中(越前・武生)→七尾→金沢と居城を変えたが、府中で初めて三万石の小大名となった。尾張からの家来は少なく、新たに家来を募った。以前は武士であったが「下剋上の無常を感じて」武士をやめ、商人となって府中に在住していた片岡一族の兄弟

利家の家来となり、特に戦に際しては兵站、兵糧を調達し御用商人として手腕を發揮し、利家の寵愛を受けた。

天正十一年(一五八三)、利家は金沢へ入城したが、二人の兄弟は出身地にちなみ「越前屋」を名乗った。越前屋は前田家の家紋入り

の鑑札をもらい、城への自由な出入りを認められ、城周辺に邸宅を与えられ、藩の「よろず御用商人」として、鎧兜や刀なども納めていた。

慶長三年(一五九八)秀吉が死去し、戦の危機が訪れると利家はいち早く金沢城の強化を指示し、城の周囲に二本の外濠を計画。東

西二本の堀は数キロに及ぶ大土木工事だったが、越前屋孫兵衛らが先頭に立つて総動員で資材を調達。わずか二十七日間で完成させた。当時加賀藩に身を寄せていた築城の名人・高山右近も尽力した。

越前屋は自宅近くに食料貯蔵用の水室を作り、藩に新鮮な食料品を納めた。また、越前屋は代々、城下の人々に食料品を提供する「市場」の必要性を藩に要望し続け、数代後の享保六年(一七二二)に、城下に散在した小市場を統合し

「近江町市場」を誕生させた。昭和四十四年には「近江町市場開設二百五十年記念式典」が挙行された(平成三十年で三百周年を迎え

る)。越前屋はその間、大阪登米(藩米を大阪で売却)の船輸送、両替屋、銀座役(貨幣の量を計る)や町年寄の役職にたびたび就任する。こうして加賀藩の御用商人として幕末まで活躍するが、明治三年、大政奉還と共に前田家は東京へ去り、越前屋もその役割を終える。越前屋も幾筋かの流れとなり、あるものは製

ね、第三回内国勸業博覧会(一八九〇・東京)に出品している。引き札(正月に得意先に手拭一本添えて配る色刷りチラシ)も十色刷りの当時としては手装され、壁に掛かっているの込んだも



店内に飾られている「平松屋の半纏」

「物を売るだけでは創造性がない」と「作ることにこだわって、チョコレイトまで自家製という徹底した無添加パン」を製造販売。アレルギーの人や妊娠中の女性などに人気を博している。お店に入ると、古い時代の「平松屋の半纏」が表装され、壁に掛かっているの込んだも

SUDOKU

数独

9x9 Sudoku grid with some numbers filled in.

二重枠(2つあります)に入った数字の合計はいくつになるでしょう。

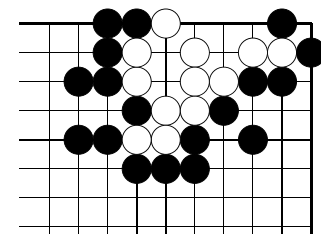
- 【ルール】 ①空いているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。 ②タテ列(9列あります)、ヨコ列(9列あります)、太線で囲まれた3x3のブロック(それぞれ9マスあるブロックが9つあります)のどれにも1から9までの数字が1つずつ入ります。

(答え3面) パズル制作/ニコリ

囲碁

初級編

出題 九段 石樽郁郎 黒先 7分で1、2級以上 (ヒント) 1、3の好手順で白をダメツマリにします。



(解答は3面にあります)

将棋

初級編

出題 九段 西村一義

Shogi board diagram showing a tactical situation.

(ヒント) 竜を取られないように……。 10分で2級

(解答は3面にあります)

鉛筆となる。

越前屋一族の亥三郎は、江戸時代から盛業であった平松屋に加わり、十代目平松三郎となり市中商人として辣腕を振るう。当時は、松亥三郎(麻ヒモ)、真、摺木、箱苧(麻ヒモ)にも出演して「近江町の品師」と言われた変り種。

現在の、十三代目の平松隆さん(三十九歳)で、金沢工大出身の技術屋さん。